用語解説

水素燃焼

原子炉で水が放射線分解されることにより水素と酸素が発生するため、蓄積した水素が何らかの理由により着火する可能性がある。なお、蓄積した水素の着火メカニズムは、現在未解明である。

機械的衝撃

機器が、動作することや、外部からの外乱（ショック）を受けることによる衝撃。

ブルドン管

圧力検出器に使用される渦巻状の金属製の中空管のこと。圧力の変化に応じて、渦巻きの曲がりが増減する性質を利用して圧力を測定する。

主蒸気管

原子炉で発生した、タービンを駆動するための蒸気が流れる配管。

主蒸気隔離弁

主蒸気管が破断した場合や、原子炉に異常（水位の低下、燃料破損）が発生した場合に閉鎖し、原子炉冷却材の放出ならびに放射性物質の系外、環境放出を防止する。

タービン制御系

タービン蒸気加減弁やタービンバイパス弁等の開度を調節することにより、タービン回転数、負荷および主蒸気圧力の制御を行う。
また、タービンに異常が発生した場合にタービンを停止させる。

タービン蒸気加減弁

タービン制御系からの信号により、タービンに流入する蒸気量を調整する弁。

タービンバイパス弁

起動時や運転中の急激な負荷変化時に、原子炉からの余分な蒸気を、タービンを通さずに直接復水器に逃がすための弁。